これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議（第５回）

参考資料１（資料集）

1. 専修学校制度 ･･･ 1

2. 学校数、学生数、進学状況･･･5

3. その他･･18

専修学校の概要

1. 目的、課程及び主な要件

目　　的	職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る。 （学校教育法第１２４条）		
要　　件	修業年限１年以上、年間授業時数８００時間以上、常時４０人以上の在学生　等		
課　　程	高等課程（高等専修学校） 入学資格：中学校卒以上	専門課程（専門学校） 入学資格：高校・高等専修学校（３年制）卒以上	一般課程 入学資格：限定なし（学歴不問）

※　各種学校：修業年限１年以上（簡易なものは３ヶ月以上）、年間授業時数６８０時間以上（入学資格：限定なし）

2. 修了者に対する称号の付与

修業年限2年以上、総授業時数1,700時間以上等の要件を満たす専門課程を修了した者には「専門士」、修業年限4年以上、総授業時数3,400時間以上等の要件を満たす専門課程を修了した者には「高度専門士」の称号を付与

3. 学校数・生徒数

専修学校の設置者別学校数、生徒数、教員数　【平成２７年度学校基本統計】　（　）内は百分率を示す

設置者 区分	総　計	国　立	公　立	私　立
学校数	3,201 校 (100)	9 (0.3)	193 (6.0)	2,999 (93.7)
生徒数	656,106 人 (100)	411 (0.1)	25,963 (4.0)	629,732 (96.0)
教員数 （本務者）	40,917 人 (100)	96 (0.2)	2,882 (7.0)	37,939 (92.7)

区　分	学校数	生徒数
高等課程	431校	40,095人
専門課程	2,823校	588,183人
一般課程	175校	27,828人
総　計	3,201校	656,106人

専修学校の分野別、課程別生徒数　【平成２７年度学校基本統計】　（　）内は百分率を示す

	工　業	農　業	医　療	衛　生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養	合　計
高等課程	5,138 (12.8)	5 (0.0)	12,064 (30.1)	5,966 (14.9)	1,222 (3.0)	8,625 (21.5)	3,345 (8.3)	3,730 (9.3)	40,095 (100)
専門課程	77,482 (13.2)	4,991 (0.8)	202,723 (34.5)	73,396 (12.5)	39,632 (6.7)	61,333 (10.4)	14,792 (2.5)	113,834 (19.4)	588,183 (100)
一般課程	16 (0.1)	0 (0.0)	92 (0.3)	561 (2.0)	0 (0.0)	93 (0.3)	561 (2.0)	26,505 (95.2)	27,828 (100)
合　計	82,636 (12.6)	4,996 (0.8)	214,879 (32.8)	79,923 (12.2)	40,854 (6.2)	70,051 (10.7)	18,698 (2.8)	144,069 (22.0)	656,106 (100)

各分野の特色

○専修学校は8つの分野で、社会的ニーズに応じた多様な職業教育を実施

コンピュータやマルチメディア等の IT 関連の最新テクノロジーに対応した人材や，建築，自動車整備，機械，電気等の生活と密接に結び付いた技術者を，実技演習を数多く取り入れた実践的なカリキュラムで育成している。

■主な設置学科…情報処理，コンピュータグラフィックス，自動車整備，土木・建築，電気・電子，放送技術，無線・通信など

介護福祉系では，人材不足のため，卒業生は社会福祉施設，老人介護施設，企業・地方公共団体等の専門職員として活躍している。保育・幼稚園教諭養成系は、女性の社会進出等の広がり，保育・幼児教育の多様化に伴い，需要の高い状態が続き，近年では男性の保育士志望者も増えている。

■主な設置学科…保育，幼児教育，社会福祉，医療福祉，介護福祉，老人福祉，精神保健福祉など

専修学校全体の中では少数派だが，これからの農業に欠かすことのできないバイオテクノロジー，食品の安全性等に関する研究，生活に潤いをもたらすガーデニングやフラワービジネス等，今後さらに成長が見込まれている。

■主な設置学科…農業，園芸，畜産，造園，バイオテクノロジー，動物管理など

オフィスワーク系の事務関連、貿易等の国際ビジネス，旅行・ホテル等のサービス関連の人材を育成している。各種の専門知識のほか，充実したパソコン・インターネット実習環境のもとでコンピュータスキル，ビジネスマナー等，総合的にビジネスを学ぶ。

■主な設置学科…簿記・経理，旅行・観光・ホテル，会計，経営，医療秘書，流通ビジネス，OA ビジネス，福祉ビジネスなど

高齢化社会の到来，医療技術の進歩に伴う予防，検査，リハビリ等の多様な展開の見られる中，看護や歯科衛生だけでなく，理学療法士・作業療法士や，はり・きゅう・あんま，マッサージ，指圧関係の学生数が増加している。

■主な設置学科…看護，歯科衛生，歯科技工，臨床検査，診療放射線，理学・作業療法，はり・きゅう・あんまマッサージ指圧，柔道整復など

ファッション業界の各部門で必要な知識と技術について教育している。就職先はデザイナーやパタンナー等の創作的な職種，アパレルマーチャンダイザーやファッションアドバイザー等の企画・販売・営業支援の職種に分かれる。

■主な設置学科…ファッションデザイン，ファッションビジネス，アパレルマーチャンダイジング，スタイリスト，和洋裁，編物・手芸など

理容・美容系は，安定した人材ニーズを持つ均衡のとれた分野で，エステ・メイクアップ，ネイルアート等も含まれる。栄養・調理系は，健康面から食生活への関心の高まりから人材ニーズは堅調であり，また，近年は製菓や製パンの技術者にも注目が集まっている。

■主な設置学科…栄養，調理師，製菓，製パン，理容，美容，エステなど

芸術系では，エンターテイメント(映画・演劇・音楽)，クリエイティブ(美術・デザイン・ゲーム制作)等，個性や芸術性を重視する教育を実施している。外国語系では，英語のほか韓国語や中国語等の関心の高い言語について，外国人教員による授業や海外研修等を積極的に導入している。

■主な設置学科…デザイン，インテリアデザイン，音楽，外国語，演劇・映画，写真，通訳・ガイド，法律行政，スポーツなど

○ 専修学校に関するこれまでの主な制度改正等の概要

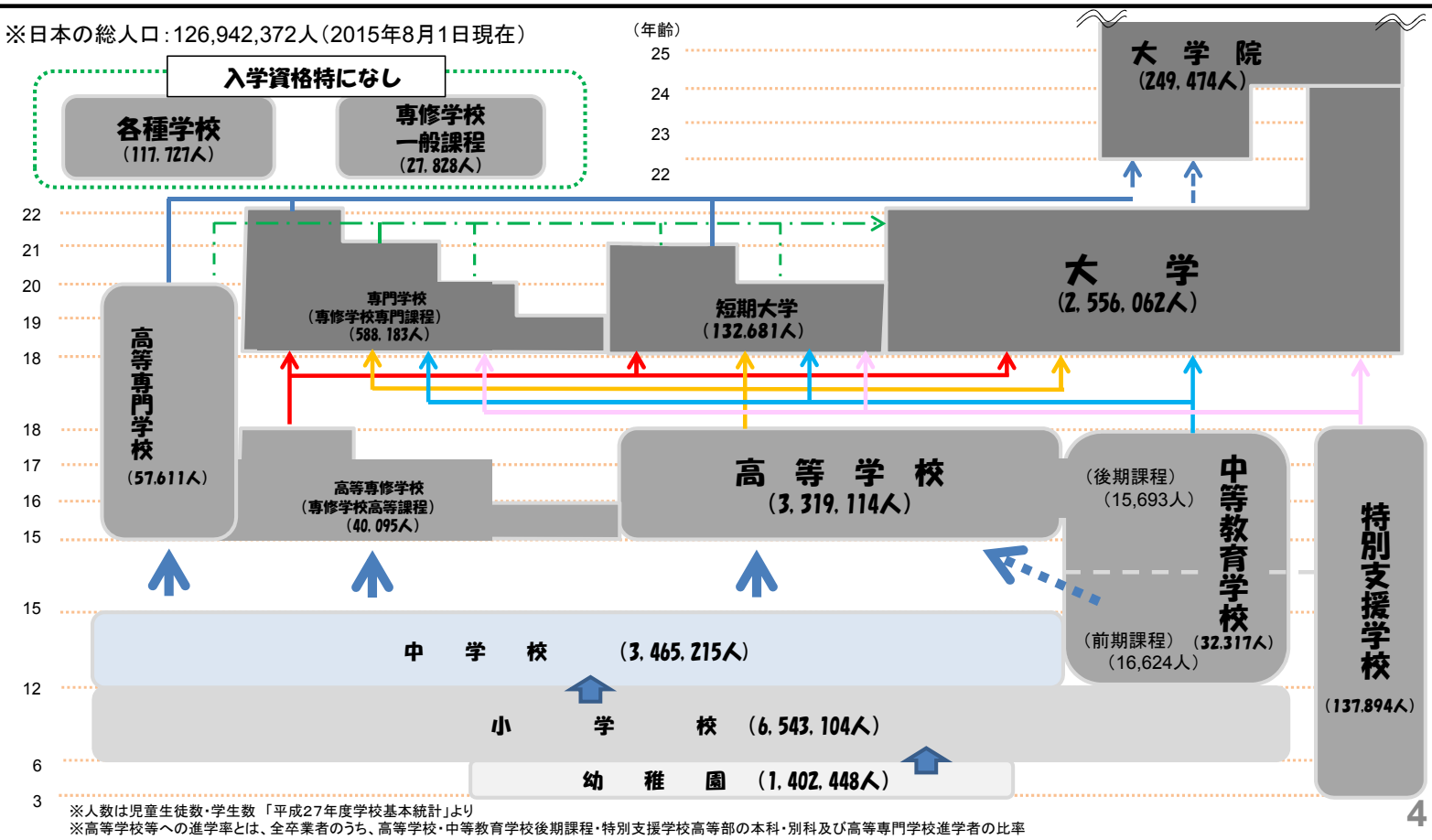
平成28年4月時点

昭和51年 制度発足　**昭和57年 私立学校振興助成法改正**　**平成18年 教育基本法改正**

修了者の学習成果の評価	専修学校制度の施行	【平成7年】「専門士」の称号付与（専門課程・2年以上、試験等に基づく課程修了の認定等）※H24年現在 約7,000学科 【平成17年】「高度専門士」の称号付与（専門課程・4年以上、試験等に基づく課程修了の認定等）※H24現在 約500学科
大学・大学院との接続		【昭和60年】[高等課程・3年以上] 大学入学資格の付与 【平成10年】[専門課程・2年以上等] 大学編入学資格の付与 【平成17年】[専門課程・4年以上等] 大学院入学資格の付与
教育の質の向上		【平成14年】情報の積極的提供の義務化 自己点検・評価等の努力義務化 【平成16年】財務情報の公開の義務化 【平成19年】自己評価の義務化等・学校関係者評価の努力義務化 【平成23年】今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）（中央教育審議会） 【平成24年】単位制・通信制の制度化 【平成25年】「専修学校における学校評価ガイドライン」の策定 「職業実践専門課程」制度創設 【平成26年】「専修学校における学校評価実践の手引き」
学校間における学修の相互評価		【平成3年】大学等における専門学校教育の単位認定 【平成5年】高校における専修学校教育の単位認定 【平成11年】専修学校における大学等の学修の履修認定に係る範囲拡大 [1/4→1/2] 【平成24年】専修学校が授業科目の履修とみなすことができる学習の範囲の拡大（高等学校専攻科、職業訓練等）
助成・税制		【昭和41年】勤労学生控除制度創設 【昭和55年】日本育英会奨学金事業の対象化 【昭和58年】学校法人・準学校法人への施設整備費創設 【昭和60年】専修学校補助等に関する地方交付税措置 【平成9年】準学校法人の設備整備費補助対象化 【平成18年】勤労学生控除制度の対象者拡大 【平成22年】高等課程生徒に対する「高等学校等就学支援金」の支給 【平成23年】学校法人・準学校法人等に対する個人からの寄付の税額控除の導入（平成27年及び平成28年に要件緩和） 【平成25年】高等専修学校の授業料減免措置に関する地方交付税措置を開始 JASSO奨学金事業の対象拡大（専門学校の修業年限2年未満の課程も新たに対象化） 教育資金の一括贈与に係る非課税措置の創設 【平成28年】学校法人等が実施する奨学金事業に係る印紙税の非課税措置の創設

日本の学校体系

○高等学校等への進学率は98.5%（高等学校における学科別の生徒数の構成割合は、普通科73%、専門学科・総合学科27%（2015年度）
○18歳人口に占める高等教育機関への進学率
　　大学51. 5%、短期大学5. 1%、高等専門学校4年次0. 9%、専門学校22. 4%　（2015年度）



専修学校の生徒数・設置者別学校数

＜生徒数＞

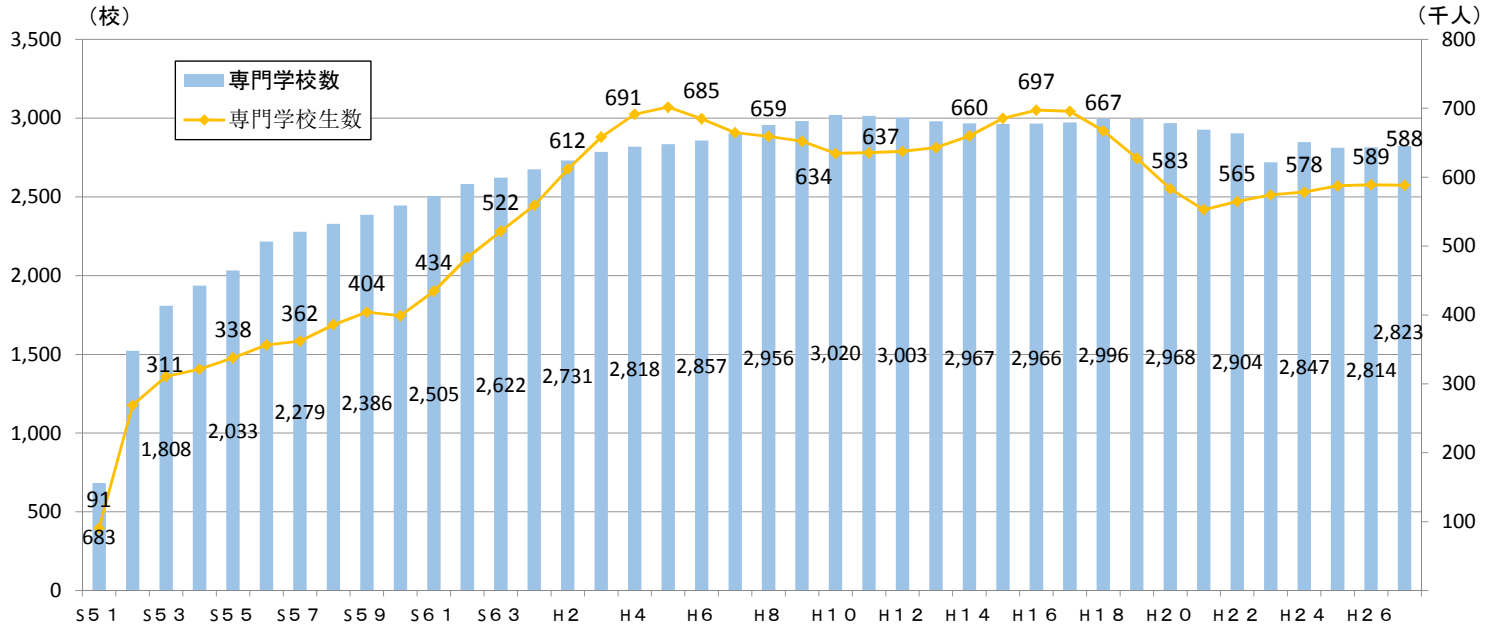
区分	計	課程別		
		高等課程	専門課程	一般課程
平成 15 年度	786,091	52,901	685,350	47,840
20	657,502	38,731	582,864	35,907
21	624,875	37,548	552,711	34,616
22	637,897	38,349	564,640	34,908
23	645,834	38,865	574,152	32,817
24	650,501	39,698	578,119	32,684
25	660,078	39,359	587,330	33,389
26	659,452	40,057	588,888	30,507
27	656,106	40,095	588,183	27,828

＜学校数＞

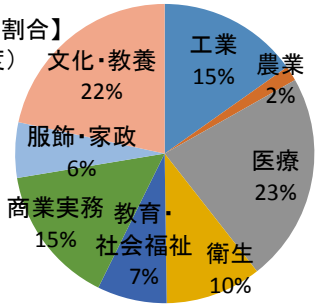
区分	計	国立	公立	私立	高等課程を置く学校	専門課程を置く学校	一般課程を置く学校
平成 15 年度	3,439	90	208	3,141	622	2,962	247
20	3,401	11	206	3,184	503	2,968	198
21	3,348	11	204	3,133	494	2,927	196
22	3,311	10	203	3,098	488	2,904	199
23	3,266	10	200	3,056	459	2,837	188
24	3,249	10	199	3,040	452	2,847	190
25	3,216	10	196	3,010	443	2,811	180
26	3,206	10	195	3,001	437	2,814	178
27	3,201	9	193	2,999	431	2,823	175

出典：学校基本統計

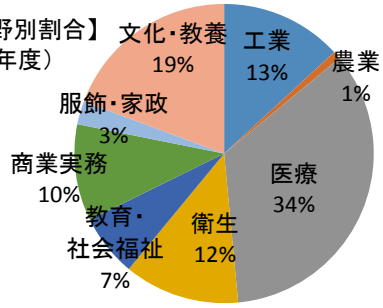
専門学校の学校数・学生数の推移／分野別割合



【学科数の分野別割合】
（平成27年度）



【学生数の分野別割合】
（平成27年度）

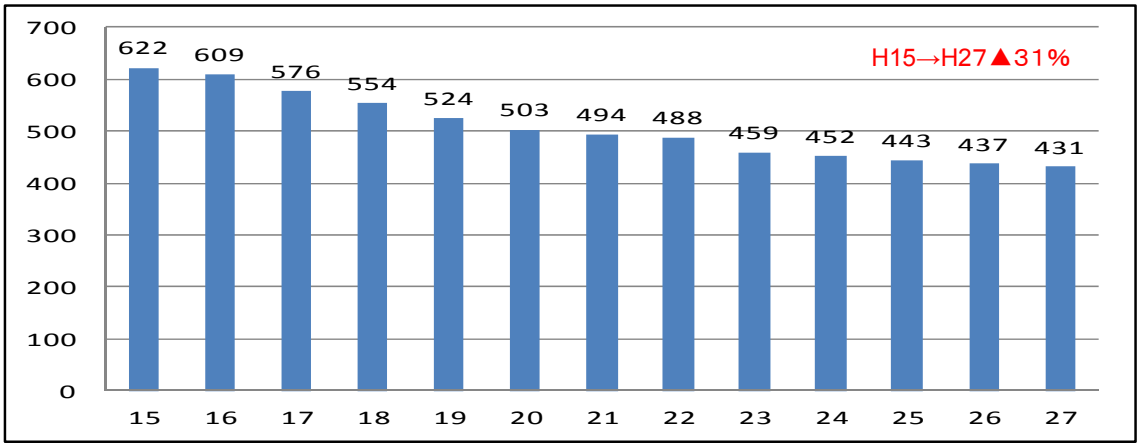


出典：学校基本統計

高等課程を置く専修学校の数、高等課程の入学者数・生徒数の推移

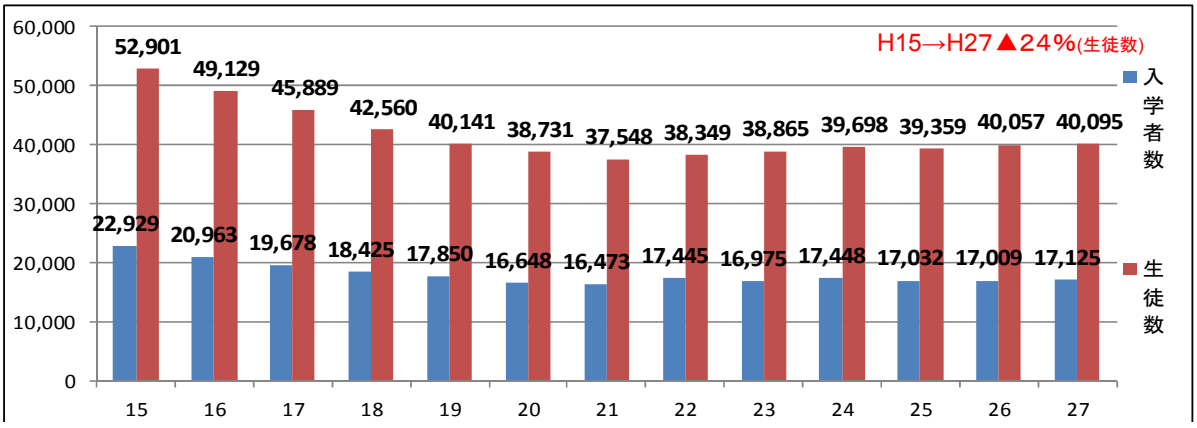
（1）高等課程を置く専修学校の数の推移

年度	学校数
15	622
16	609
17	576
18	554
19	524
20	503
21	494
22	488
23	459
24	452
25	443
26	437
27	431



（2）専修学校高等課程の入学者数・生徒数の推移

年度	入学者数	生徒数
15	22, 929	52, 901
16	20, 963	49, 129
17	19, 678	45, 889
18	18, 425	42, 560
19	17, 850	40, 141
20	16, 648	38, 731
21	16, 473	37, 548
22	17, 445	38, 349
23	16, 975	38, 865
24	17, 448	39, 698
25	17, 032	39, 359
26	17, 009	40, 057



文部科学省「学校基本統計」

専修学校の学校規模別学校数

専修学校の規模は、２００人以下の規模が約７割を占め、他の学校種と比べ小規模な学校が多い。

（学校数）

		計	200人以下	201～400人	401～600人	601～1,000人	1,001人以上
専修学校	国立	9	9	―	―	―	―
	公立	193	162	29	2	―	―
	私立	2,999	1,930	662	226	133	48
	計	3,201	2,101	691	228	133	48
	割合	100.0%	65.6%	21.6%	7.1%	4.2%	1.5%

（課程数）

		計	200人以下	201～400人	401～600人	601～1,000人	1,001人以上
高等学校	国立	15	1	4	4	4	2
	公立	4,061	833	516	791	1,610	311
	私立	1,346	114	191	227	434	380
	計	5,422	948	711	1,022	2,048	693
	割合	100.0%	17.5%	13.1%	18.8%	37.8%	12.8%

（学校数）

		計	200人以下	201～400人	401～600人	601～1,000人	1,001人以上
短期大学	国立	－	－	－	－	－	－
	公立	18	4	5	7	2	－
	私立	328	74	139	65	41	9
	計	346	78	144	72	43	9
	割合	100.0%	22.5%	41.6%	20.8%	12.4%	2.6%

（学校数）

		計	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,001～5,000人	5,001～10,000人	10,001人以上
大学	国立	86	－	2	3	31	29	21
	公立	89	5	16	14	49	5	―
	私立	604	13	91	112	278	68	42
	計	779	18	109	129	358	102	63
	割合	100.0%	2.3%	14.0%	16.6%	46.0%	13.1%	8.1%

（出典）平成27年度学校基本統計

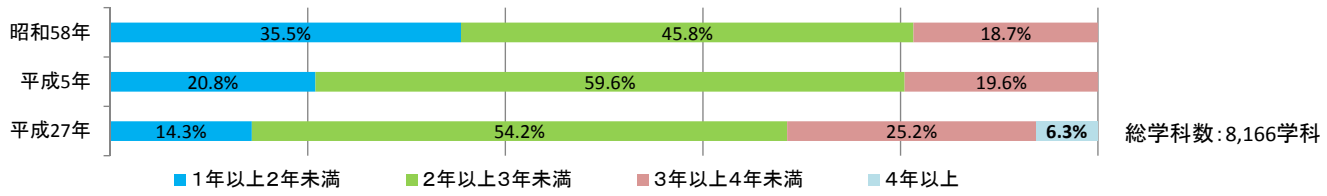
（注）高等学校については、全日制・定時制の生徒数
短期大学・大学については、本科のほかに専攻科・別科等も含めた学生数
ただし、通信による教育を受ける学生は除いている。

専門学校の修業年限別学科数の推移

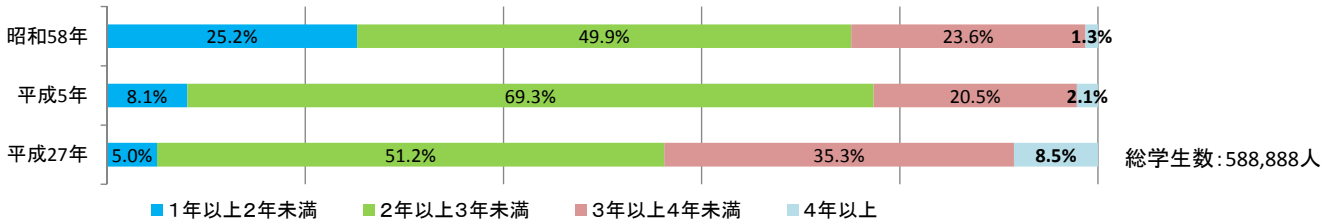
〇社会が要求する知識、技術等の高度化に対応するために、**修業年限が長期化**する傾向。１年制から2年制へ、さらに**3年制、4年制学科の増加**。

修業年限	学科数	学生数（人）
1年以上2年未満	1，175 （14．3%）	29，536（ 5．0%）
2年以上3年未満	4，444 （54．2%）	301，149（51．2%）
3年以上4年未満	2，065 （25．2%）	207，606（35．3%）
4年以上	514 （ 6．3%）	49，892（ 8．5%）

【専門学校の修業年限別学科数】

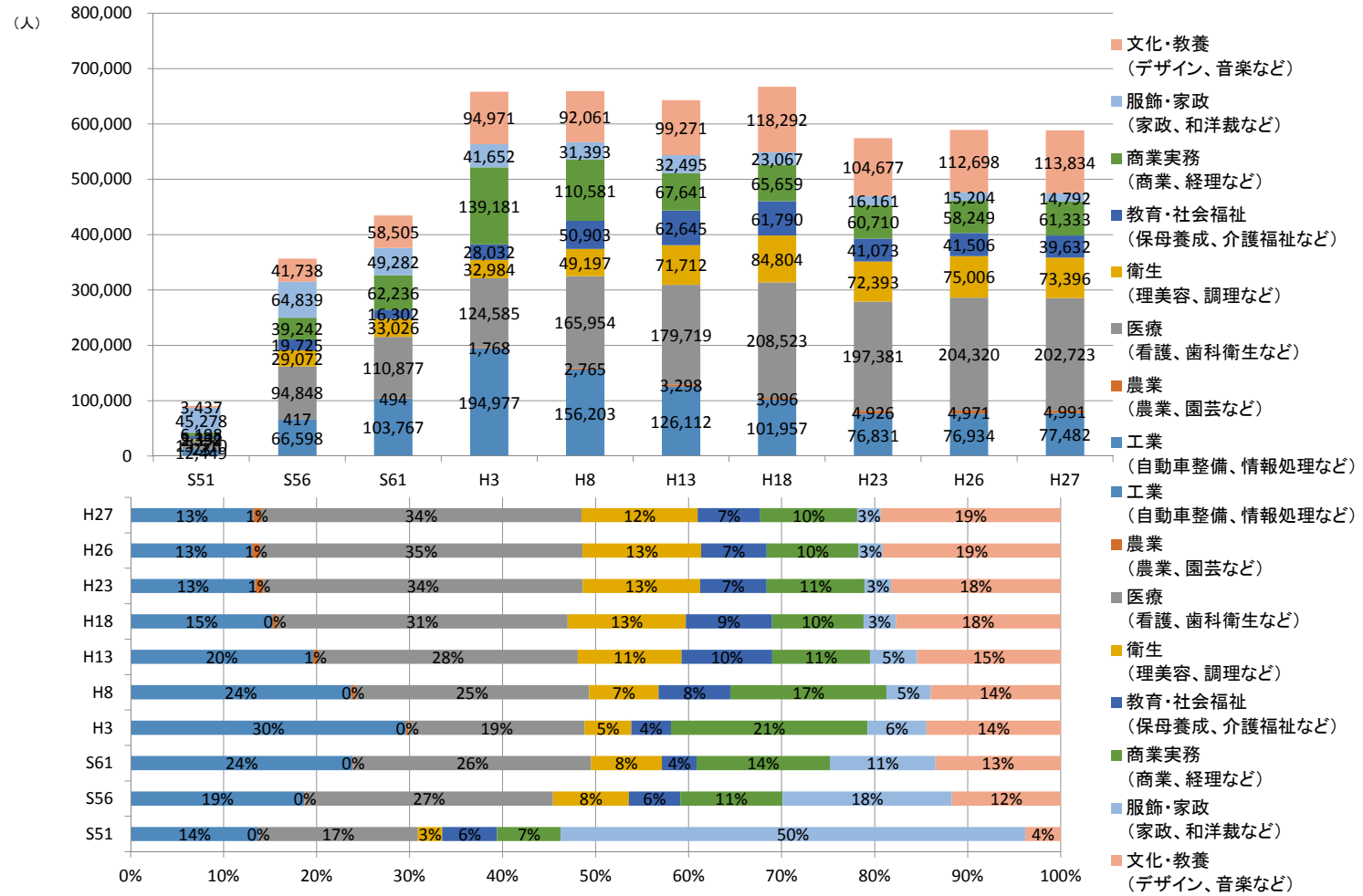


【専門学校の修業年限別学生数】

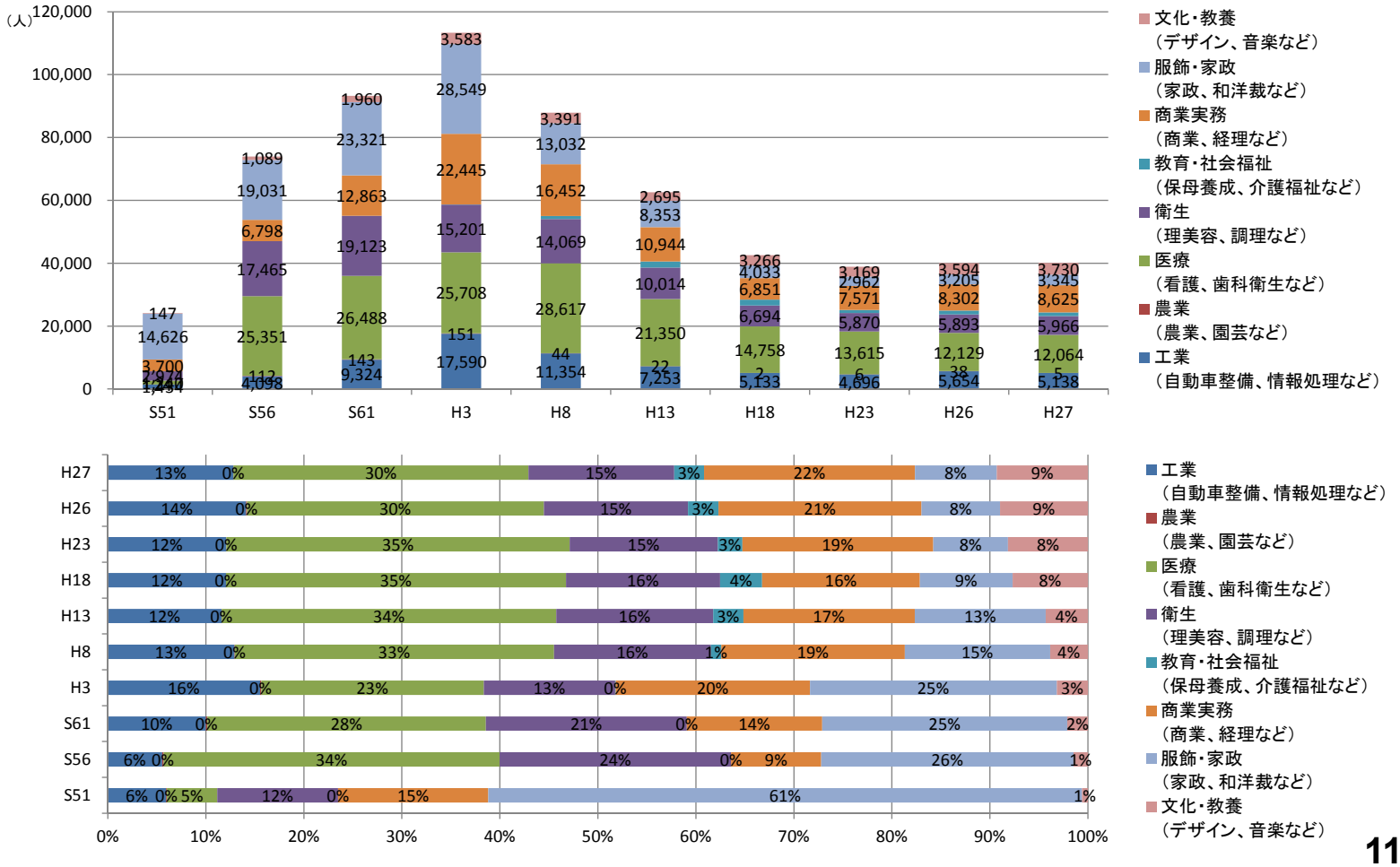


出典：文部科学省「学校基本統計」

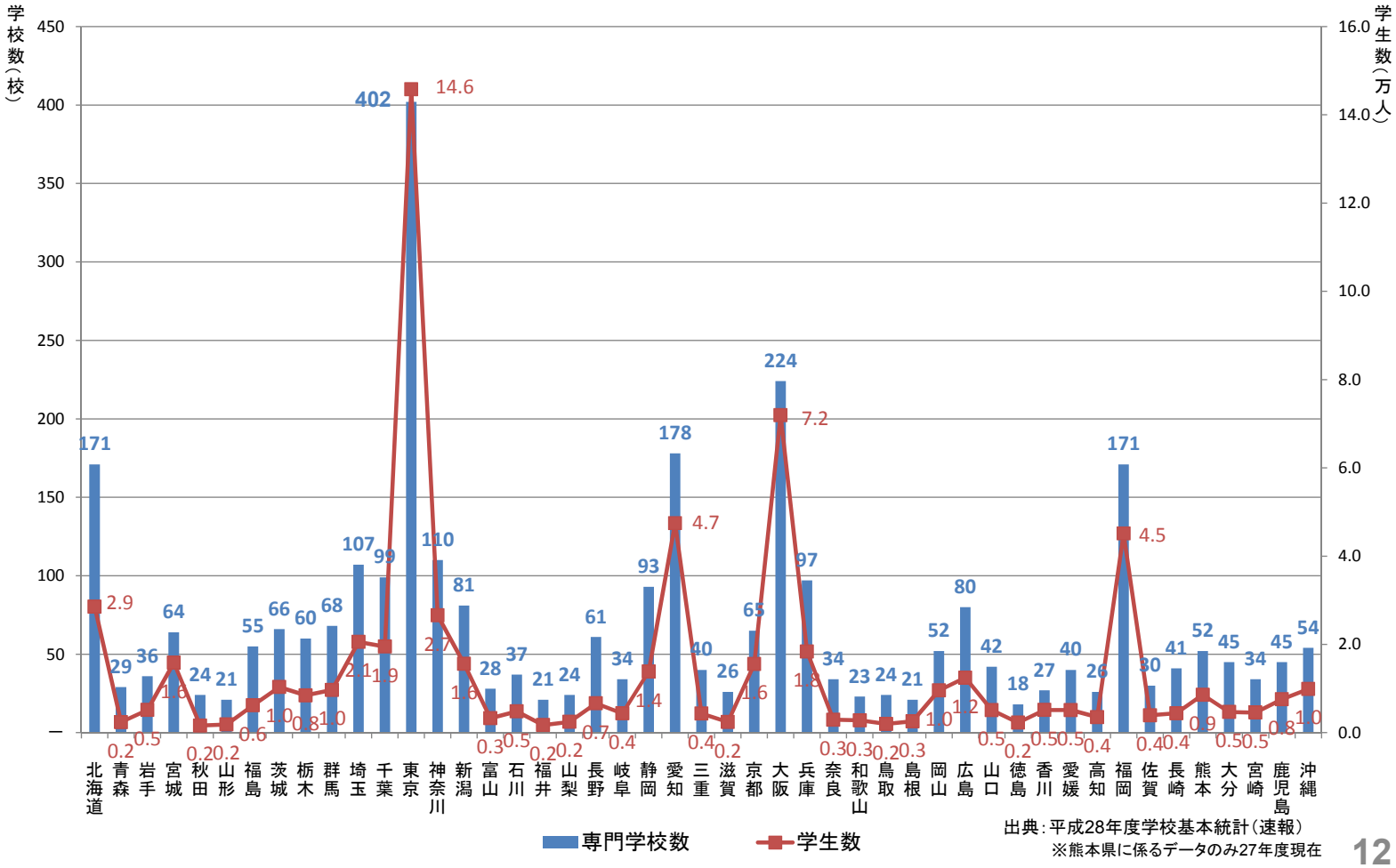
分野別専修学校生徒数の推移（専門課程）



分野別専修学校生徒数の推移（高等課程）

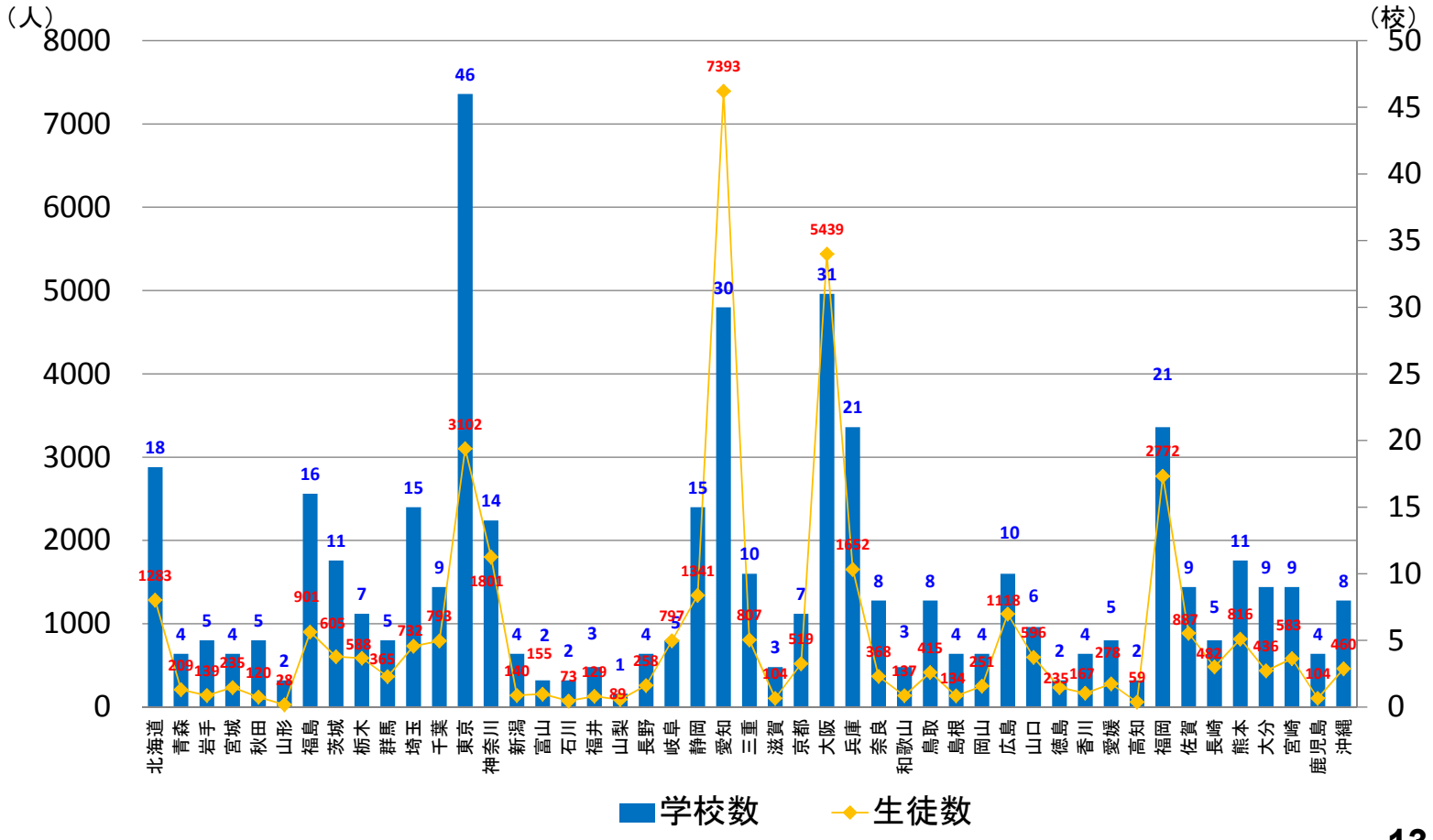


地域別専門学校数と学生数



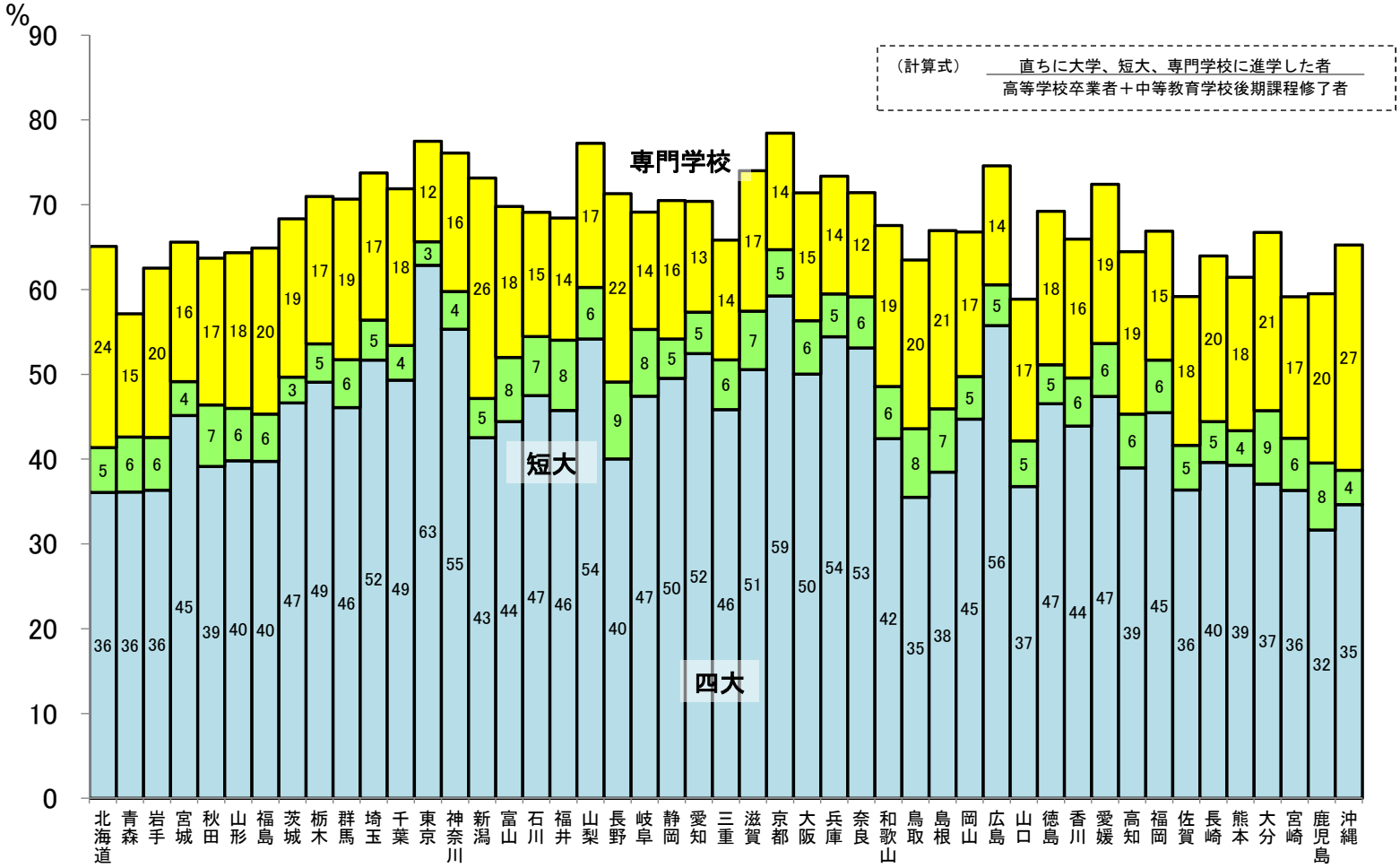
出典：平成28年度学校基本統計（速報）
※熊本県に係るデータのみ27年度現在

都道府県別の高等課程を置く専修学校数及び生徒数



平成27年度 学校基本統計

都道府県別高校新卒者の進学率（専門学校含む）



出典：平成27年度学校基本統計

専修学校卒業後の状況について

1. 専修学校卒業後の状況について（課程別）

課程	卒業者数	うち就職者数		うち進学者数						左記以外
		就職者	一時的	大学	短期大学	高等専門学校	専門学校	大学院	その他	
高等課程	13,513	6,530	333	537	171	103	3,774	0	380	1,685
専門課程	212,370	171,107	5,003	3,785	129	303	8,549	276	1,893	21,325
一般課程	29,643	1,001	42	24,794	136	0	514	45	1,901	1,210

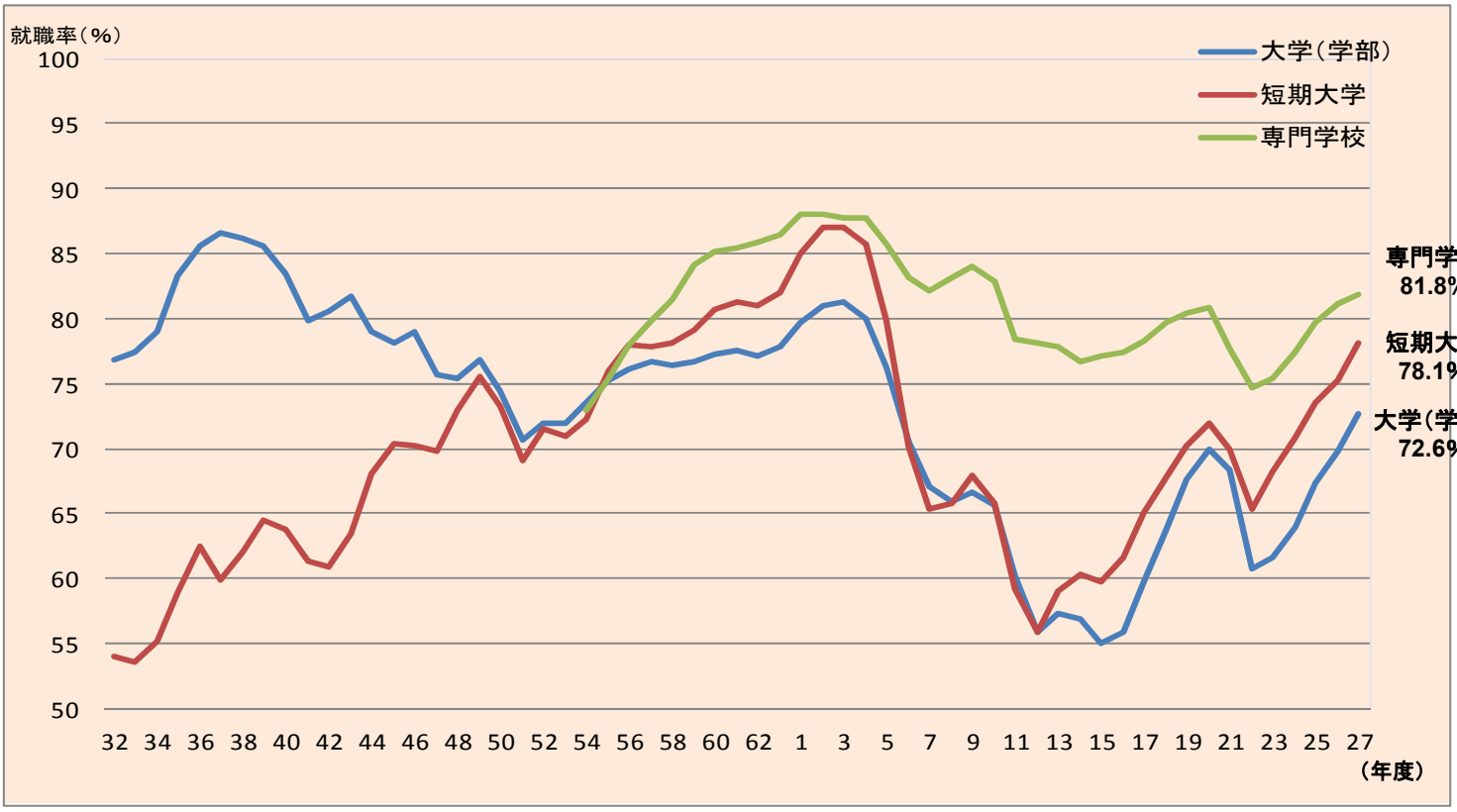
2. 専修学校卒業後の状況について（分野別）

分野	卒業者数	うち就職者数		うち進学者数						左記以外
		就職者	一時的	大学	短期大学	高等専門学校	専門学校	大学院	その他	
工業関係	30,118	23,979	520	564	27	302	2,185	30	84	1
農業課程	743	604	3	0	0	0	23	7	19	0
医療関係	57,553	49,663	677	254	25	68	2,472	9	495	33
衛生関係	38,617	33,261	747	75	33	1	1,205	4	387	10
教育・社会福祉関係	17,152	14,889	194	385	32	9	443	5	71	6
商業実務関係	31,849	23,901	716	1,047	83	30	2,254	32	435	1
服飾・家政関係	7,230	3,550	182	890	36	14	1,093	0	168	0
文化・教養関係	71,386	27,843	2,365	25,286	202	3	3,089	233	2,435	150

※出典：平成26年度私立高等学校等実態調査

専門学校における卒業生に占める就職者の割合の推移

下記の数値は、各学校段階の卒業者のうち卒業後すぐに就職した者の割合を示す。

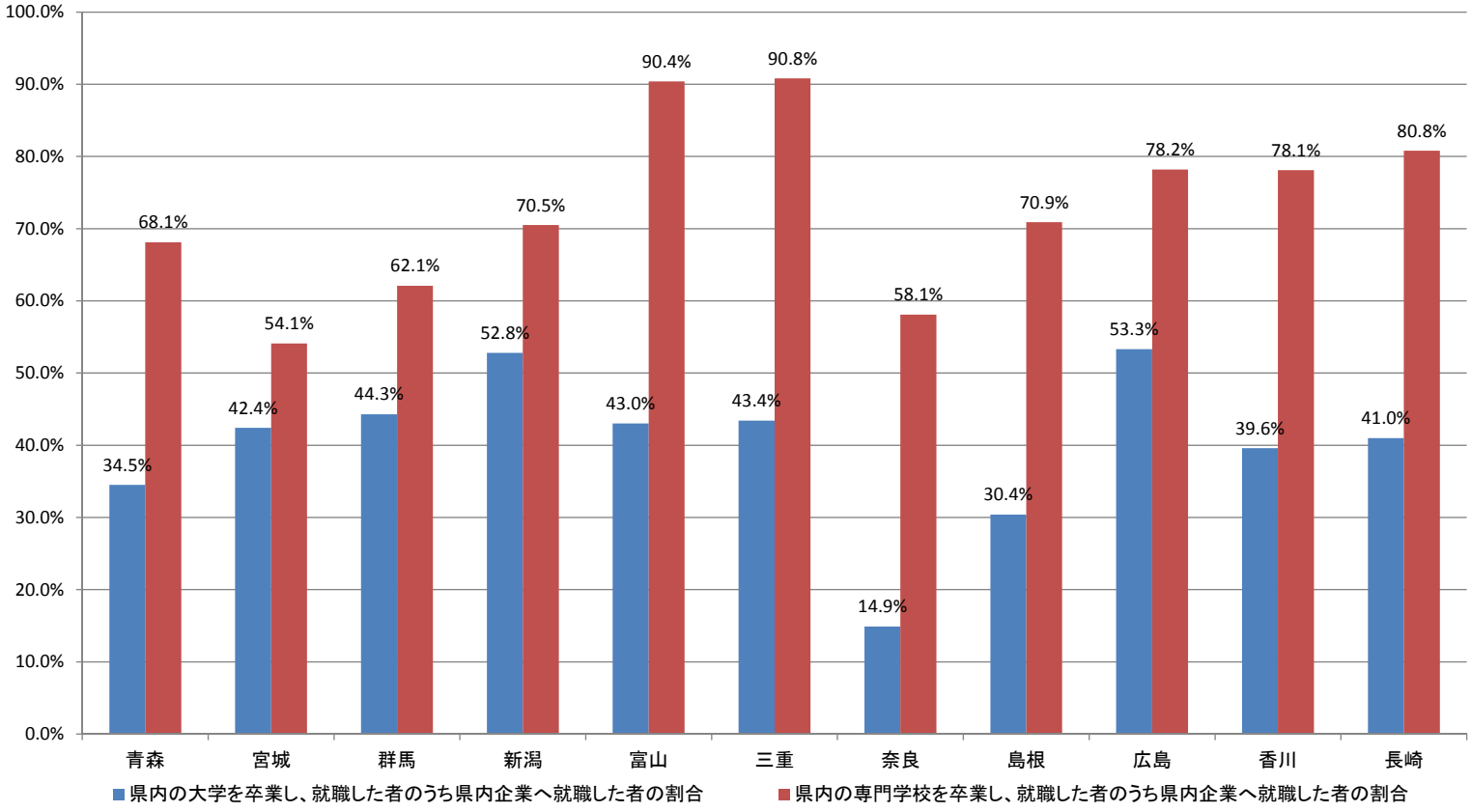


※就職率の算定に用いた就職者数には、一時的な職に就いた者は含まない。

資料：文部科学省「学校基本統計」

専門学校・大学卒業者における地元就職の状況

専門学校の卒業者は、大学と比べて地元に就職する割合が高い。



平成27年度文部科学省専修学校教育振興室調べ（各県の労働局提供資料より作成）

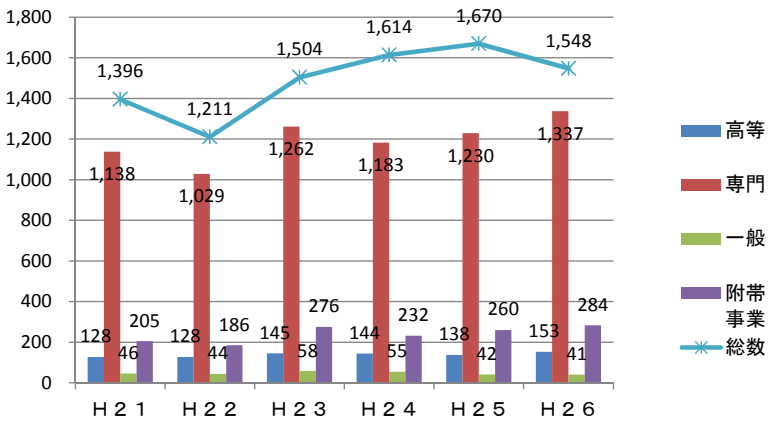
社会人の受入状況（私立専修学校）

○社会人の受入状況（学校数、学生数等）

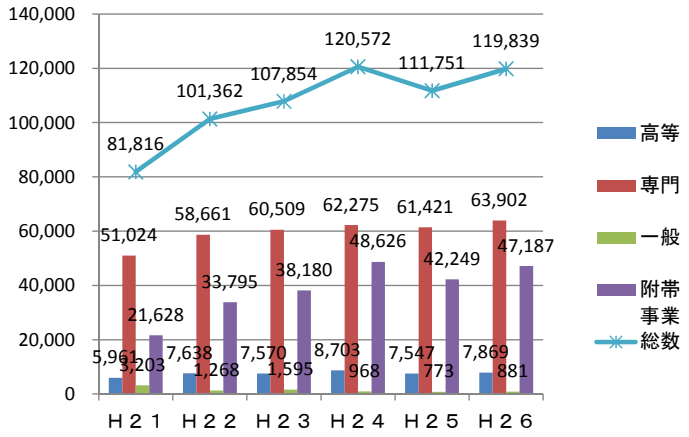
年度	受入総学校数					受入総人数					委託訓練の受入				企業からの委託	
											公共職業訓練		求職者支援制度			
	高等	専門	一般	附帯事業	総数	高等	専門	一般	附帯事業	総数	人数	コース数	人数	コース数	人数	コース数
H22	128	1,029	44	186	1,211	7,638	58,661	1,268	33,795	101,362	10,829	586	－	－	－	－
H23	145	1,262	58	276	1,504	7,570	60,509	1,595	38,180	107,854	13,877	723	－	－	－	－
H24	144	1,183	55	232	1,614	8,703	62,275	968	48,626	120,572	8,821	462	2,943	236	1,141	79
H25	138	1,230	42	260	1,670	7,547	61,421	773	42,249	111,751	6,762	356	2,123	179	563	35
H26	153	1,337	41	284	1,548	7,869	63,902	881	47,187	119,839	6294	353	1,643	157	479	30

8月中に審議経過報告、年度内に最終とりまとめ。

○社会人の受入学校数の推移



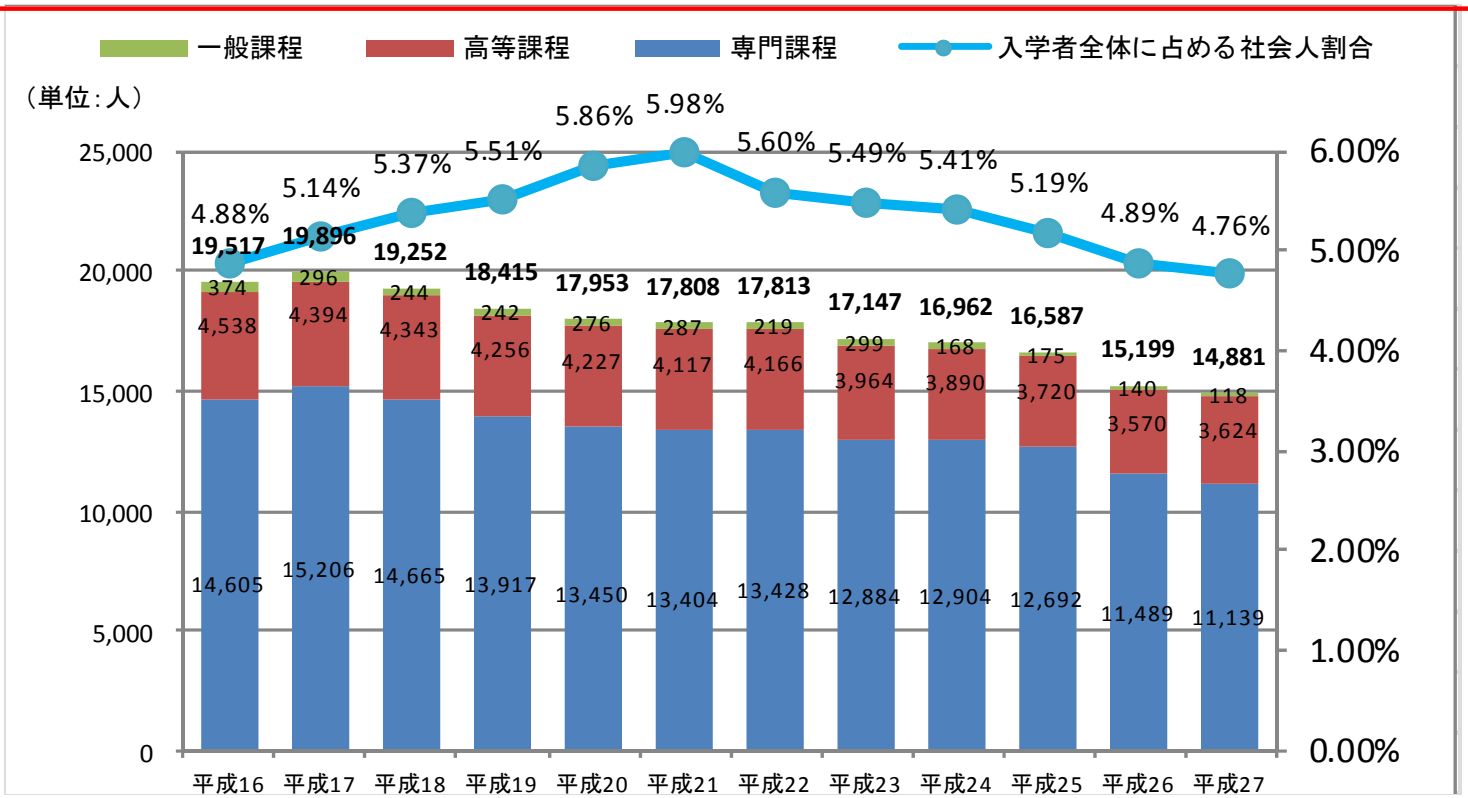
○社会人の受入生徒数の推移



※出典：平成26年度私立高等学校等実態調査

入学者のうち就業している者の推移（専修学校）

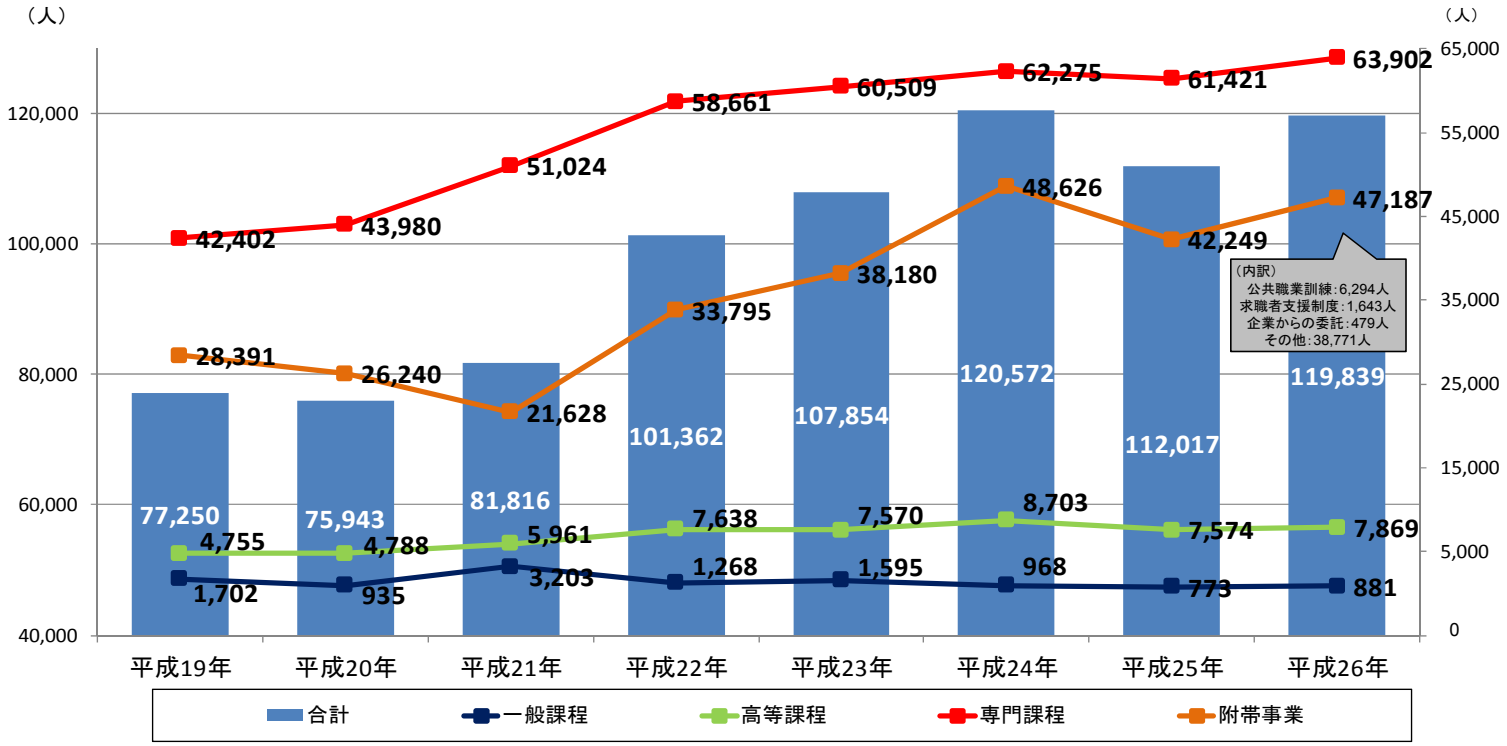
専修学校への入学者のうち就業している者の数は平成17年度をピークに減少し、平成27年度の入学者のうち就業している者は、約1万5千人。



※　出典：学校基本統計
※　「就業している者」とは、会社、工場、商店、官公庁等の事業所に勤務し、給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就いている者をいう。
　　自家業・自営業を営んでいる者を含み、家事手伝い、臨時的な仕事に就いている者は含まない。

社会人の在学生数の推移（私立専修学校）

社会人の在学生数は、増減があるものの、平成１９年度以降は増加。特に専門課程の増加が顕著。平成２６年度の私立専門学校における社会人の在学生数は、約６万４千人。職業訓練等の附帯事業を含めると、総数で約１２万人の社会人が私立専修学校に在学している。



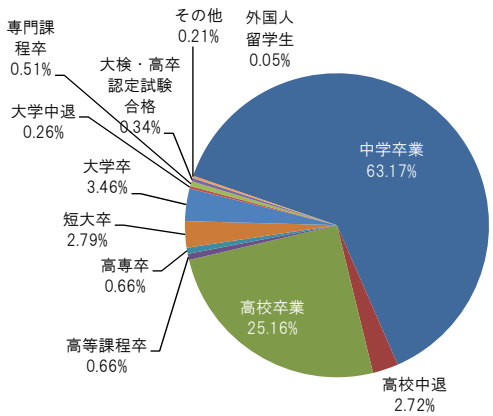
※ 出典：文部科学省　私立高等学校等実態調査（調査対象：私立の専修学校）
※「社会人」とは、当該年度の5月1日現在において、職に就いている者、すなわち給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者、企業等を退職した者、又は主婦等をいう。

在籍生徒の最終学歴（私立専修学校）

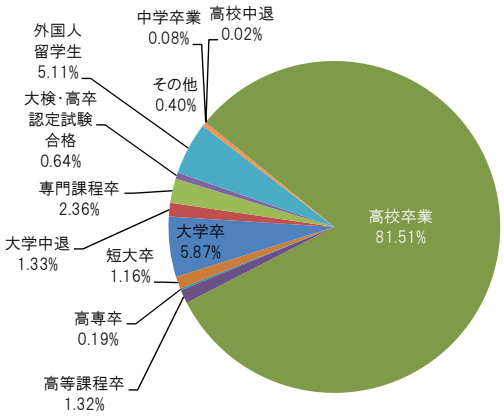
○在籍生徒の最終学歴

	在籍生徒の最終学歴（平成26年度）												
	中学卒業	高校中退	高校卒業	高等課程卒	高専卒	短大卒	大学卒	大学中退	専門課程卒	大検・高卒認定試験合格	外国人留学生	その他	合計
高等課程	22,656	976	9,023	235	237	1,002	1,240	94	184	123	18	77	35,865
専門課程	399	115	426,789	6,932	1,020	6,094	30,737	6,967	12,365	3,328	26,770	2,075	523,591
一般課程	191	313	23,260	5	11	81	349	72	62	173	84	118	24,719

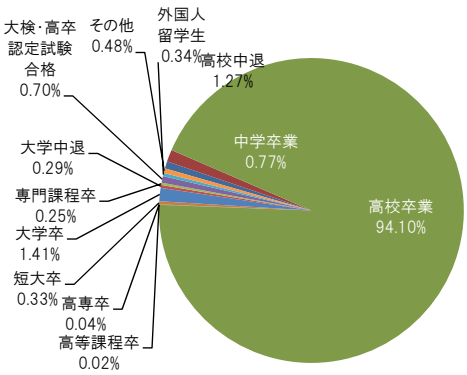
各課程の最終学歴の割合



［高等課程］



［専門課程］



［一般課程］

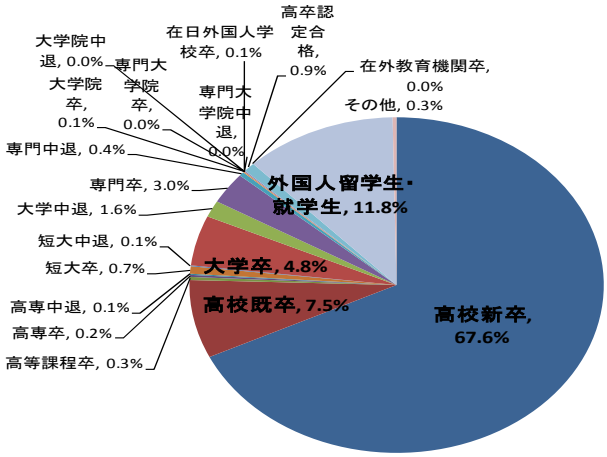
※出典：平成26年度私立高等学校等実態調査

専門学校の生徒の状況

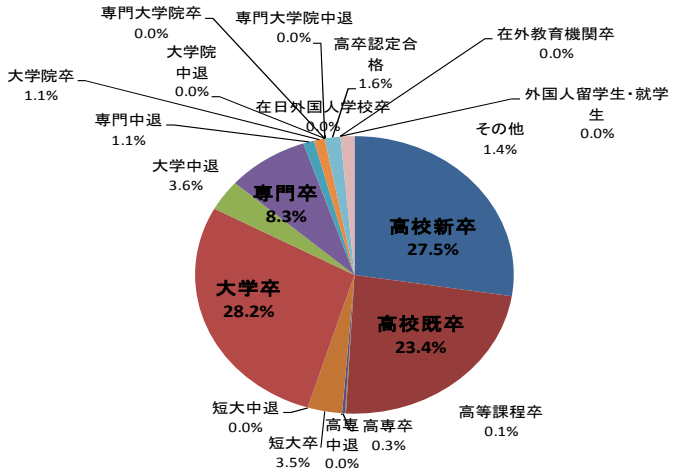
一旦就職した者や、大卒・専門課程卒等、高等教育機関を卒業した者も入学しており、特に夜間部においては、高校・高等専修学校卒業直後に入学している者の割合は3割以下。

●平成27年4月 専門学校入学者の学歴

[昼間部]

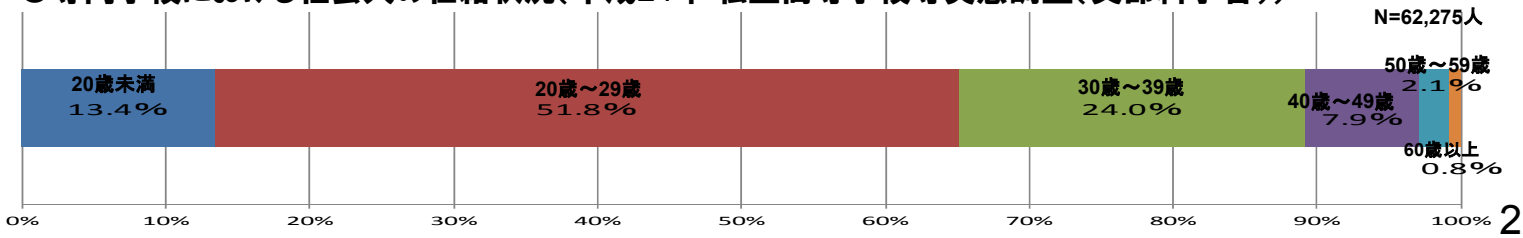


[夜間部]

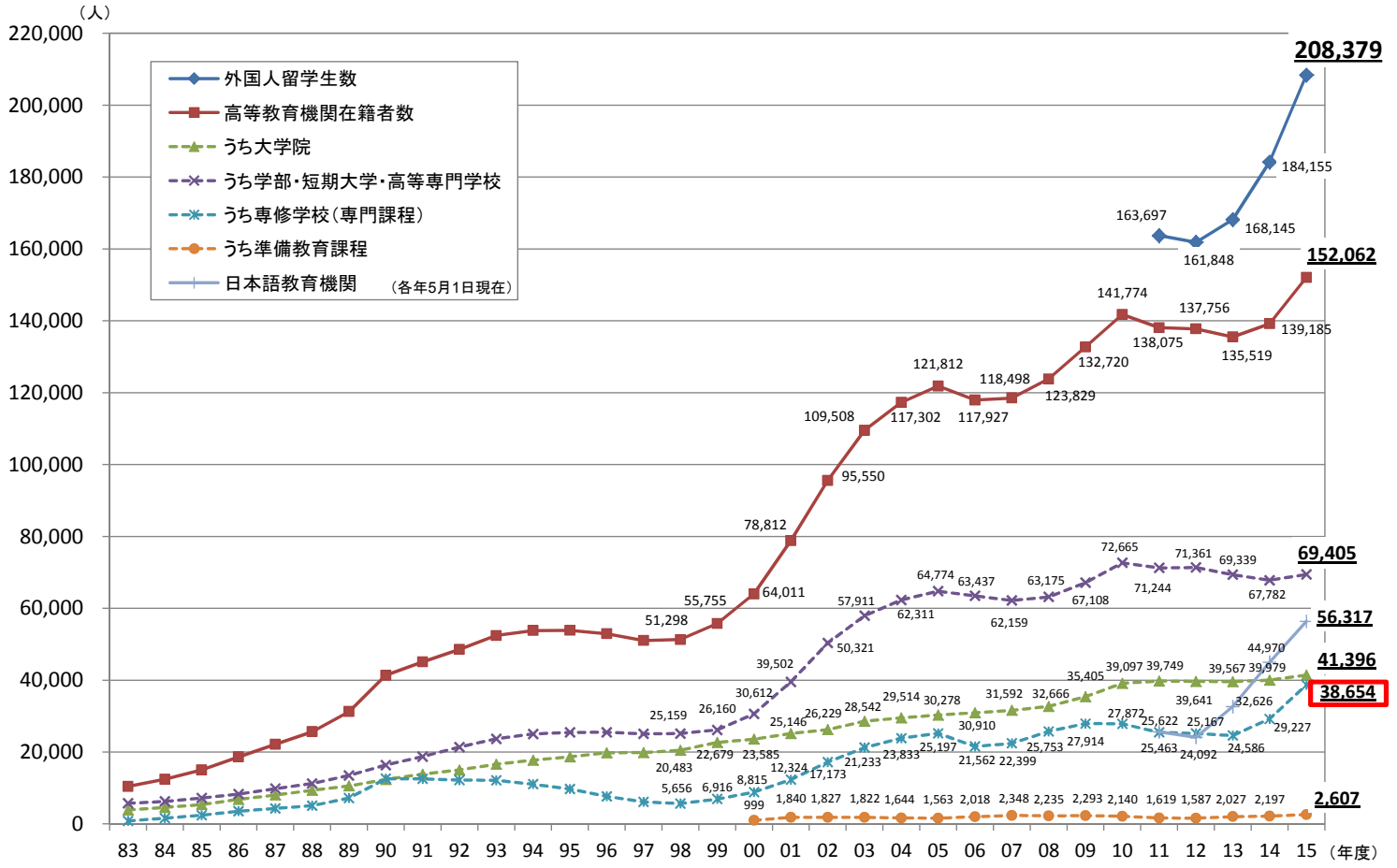


出典：平成24年度 専修学校各種学校調査統計資料（東京都専修学校各種学校協会）

●専門学校における社会人の在籍状況（平成24年 私立高等学校等実態調査（文部科学省））



学校種別・外国人留学生数推移



※「出入国管理及び難民認定法」の改正（平成21年7月15日公布）により、平成22年7月1日付けで在留資格「留学」「就学」が一本化されたことから、平成23年5月以降は日本語教育機関に在籍する留学生も含めて計上している。

（出典）独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

分野別の外国人留学生の受入れの状況

H27

分類	学科	留学生数（人）
工業関係	測量	26
	土木・建築	519
	電気・電子	107
	無線・通信	28
	自動車整備	667
	機械	124
	電子計算機	84
	情報処理	2,126
	その他	1,307
農業関係	農業	8
	園芸	56
	その他	30
医療関係	看護	17
	歯科衛生	7
	歯科技工	18
	はり・きゅう・あんま	21
	柔道整復	18
	理学・作業療法	10
	その他	46
衛生関係	栄養	17
	調理	375
	理容	3
	美容	211
	製菓・製パン	448
	その他	30
教育・社会福祉関係	保育士養成	18
	教員養成	3
	介護福祉	99
	社会福祉	242

分類	学科	留学生数（人）
教育・社会福祉関係	保育士養成	18
	教員養成	3
	介護福祉	99
	社会福祉	242
商業実務関係	商業	4,866
	経理・簿記	1,011
	秘書	13
	経営	953
	旅行	1,431
	情報	3,384
	ビジネス	101
	その他	383
服飾・家政関係	家政	197
	和洋裁	1,392
	編物・手芸	170
	ファッションビジネス	370
	その他	29
文化・教養関係	音楽	321
	美術	207
	デザイン	1,234
	外国語	2,300
	演劇・映画	169
	写真	104
	通訳・ガイド	1,277
	動物	87
	法律行政	318
	スポーツ	21
	その他	2,980
	日本語	8,671
合計		38,654

出典：日本学生支援機構「平成27年度外国人留学生在籍状況調査」

専門学校における外国人留学生の入学者数の状況

		中国	ベトナム	ネパール	台湾	韓国	ミャンマー	スリランカ	タイ	モンゴル	インドネシア	フィリピン	バングラデシュ	インド	マレーシア	アメリカ	ロシア	カンボジア	その他	合計
工　業	人	763	395	115	76	101	30	43	16	6	14	4	5	16	3	2	13	17	45	1664
農　業	人	5			2	2									1					10
医　療	人	21	3		3	7				5									1	40
衛　生	人	127	6	4	68	110		1	8	1	4			1	2		1	1	7	341
教　育	人	114	8	1	4	1		1	2			9							1	141
商　業	人	1249	604	798	117	108	63	103	23	40	9	10	10	6	2	1	5	3	26	3177
服　飾	人	94	63	33	5	6	19		2	4		2							1	229
日本語科以外	人	1522	505	343	168	172	81	27	20	16	31	3	3	1	19	7	8	1	73	3000
日本語科	人	551	1040	469	195	123	8	12	57	30	39	8	12	4	1	12			78	2639
全　体	人	4446	2624	1763	638	630	201	187	128	102	97	36	30	28	28	22	27	22	232	11241

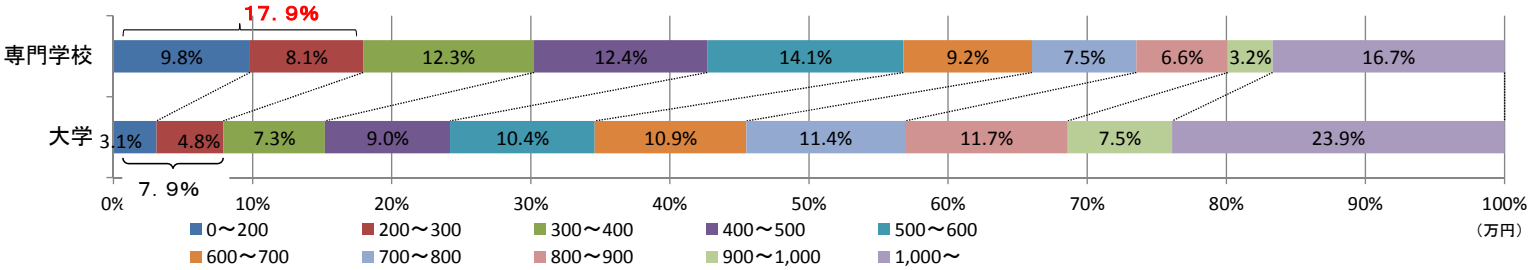
出典：全国学校法人立専門学校協会「専門学校における留学生受け入れ実態に関する調査研究報告書-平成26年度-」

（学校法人立の専門学校（看護師養成系を除く）2,777校を対象にアンケート調査（回答率73.4%））

専門学校生の経済的状況

専門学校生と大学生における家庭の年間収入別　生徒・学生数の割合

家庭の年間収入が300万円以下の割合をみると、専門学校生が17．9%、大学生7．9%　⇒　専門学校生の割合の方が高い。

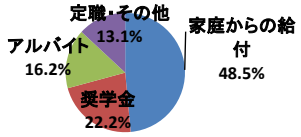


専修学校（専門課程）の生徒と大学の学生の収入状況

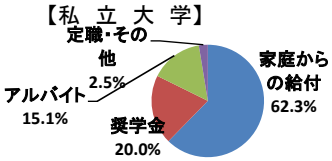
〔私立専修学校（専門課程）の生徒と私立大学の学生の収入の構成割合〕
○私立専修学校（専門課程）の生徒の収入総額に占める家庭からの給付額の割合は48．5%。定職・その他の割合は13．1%を占める。
○私立大学生の収入総額に占める家庭からの給付額の割合は62．3%。

出典：平成25年度「専修学校における生徒・学生支援等に関する基礎調査」
平成24年度「学生生活調査」（日本学生支援機構）　等

【私立専修学校（専門課程）】



【私　立　大　学】



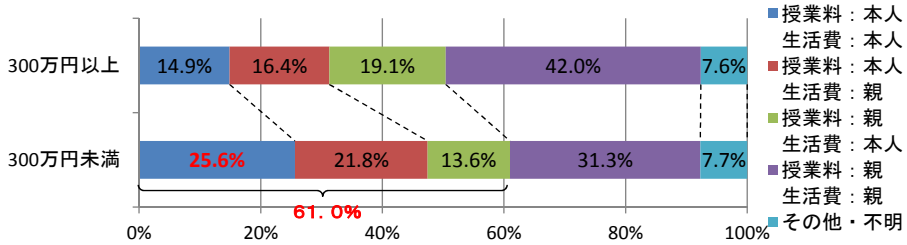
※「定職・その他」には、貯蓄等を取り崩した金額、臨時収入、借入金が含まれる。

専修学校生における中退者の状況

経済的理由により、専修学校を中途退学した者は、中退者全体の約1割（約10%～12%で推移）

（出典：文部科学省調べ）

専門学校生の授業料及び生活費の負担状況



家庭の年間収入が300万円未満の専門学校生の4人に1人（25．6%）が授業料も生活費も生徒本人が負担している。
また、授業料又は生活費のいずれかを本人が負担している割合も含めると、6割（61%）を占める。

出典：平成26年度「専修学校生の学生生活等に関する調査研究」